

公益財団法人SGH財団  
第24回市民公開講座

# 命を守る選択、 未来につなぐ がん医療

～乳がん、卵巣がん、子宮がんの最新治療と妊よう性温存～

がん治療進歩の最新知識とともに、  
一人ひとりの状況に合わせた適切な方法を紹介します

令和8年 **3月1日** (日)

13:00開演 (15:45閉演予定)

主催：公益財団法人SGH財団 後援：公益財団法人日本対がん協会  
協力：SGホールディングスグループ

## スケジュール

13:00 開演

### 主催者挨拶

公益財団法人 SGH 財団理事長  
SG ホールディングス株式会社代表取締役会長  
佐川急便株式会社会長

栗和田 榮一

13:05～ 第1部 講演

### 乳がん治療の最近の進歩～一人ひとりに最も適した治療を～

京都大学大学院医学研究科乳腺外科学教授

増田 慎三

### 知っておきたい卵巣がん～治療と予防の最新情報～

大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教授

小玉 美智子

### 子宮がん（頸がん・体がん）最前線～予防から治療まで～

金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学教授

安彦 郁

### 妊よう性温存とその選択肢～がん・生殖医療の最新の話題～

聖マリアンナ医科大学 産科婦人科学主任教授

鈴木 直

休憩

14:50～ 第2部 パネルディスカッション

### モデレーター

京都大学名誉教授  
京都医療センター名誉院長

小西 郁生

京都大学名誉教授  
宇治徳洲会病院顧問  
藤田医科大学客員教授

平岡 眞寛

### パネリスト

増田 慎三 | 小玉 美智子 | 安彦 郁 | 鈴木 直

15:45 閉演

コーディネーター

小西 郁生

平岡 眞寛

司会

植月 百枝

## 講演

# 乳がん治療の最近の進歩～一人ひとりに最も適した治療を～



京都大学大学院医学研究科  
乳腺外科学教授

増田 慎三

乳癌は女性がんの中で最も多く、近年増加傾向にあります。その治療成績は5年生存率で90%以上が期待できます。また若年壮年期の発症が多いことも特徴です。マンモグラフィ検診やブレスト・アウェアネスの浸透と薬物療法の進歩がそれを支えています。乳癌は多様性に富み、局所療法（手術/放射線治療）と全身

療法（薬物療法）のバランスを、そのバイオロジー（性格）を基本に、一人ひとりに最適な個別化治療が実践されています。本講演では、最新の乳癌診療をわかりやすく概説したいと思います。早期発見、予防につながることを期待しています。

## 学歴

平成 5年 大阪大学医学部卒業

平成 13年 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）

## 職歴

平成 5年 大阪大学医学部附属病院 研修医

平成 6年 大阪通信病院 外科

平成 13年 市立堺病院 外科 医長

平成 15年 国立病院機構大阪医療センター 外科（乳腺担当）

平成 25年 国立病院機構大阪医療センター 外科医長・乳腺外科科長

令和 3年 名古屋大学大学院医学系研究科 病態外科学講座 乳腺・内分泌外科学 教授

令和 6年 京都大学大学院医学研究科 外科学講座 乳腺外科学 教授

## 専門医等

日本外科学会 指導医・専門医

日本乳癌学会 指導医・専門医・認定医

評議員・代議員：日本外科学会、日本乳癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本乳癌検診学会、日本臨床外科学会、日本サポーターブケア学会

JBCRG (Japan Breast Cancer Research Group) 常任理事

KBCRN (Kyoto Breast Cancer Research Network) 代表理事

ASCO, ESMO レギュラー会員

講演  
知っておきたい卵巣がん～治療と予防の最新情報～



大阪大学大学院  
医学系研究科産科学婦人科学教授

小玉 美智子

卵巣がんは自覚症状が出にくく、早期発見が難しいがんです。しかし近年は、手術と薬物療法を組み合わせた治療が進化し、新しい治療薬の登場により成績は大きく向上しています。遺伝的に卵巣がんを発症しやすい方では、予防的な卵巣・卵管摘出や適切な経過観察が可能にな

りました。がん治療では医師と患者が協力し、最適な治療を選ぶことが大切です。そのために必要な卵巣がんについて最新の正しい知識を、本講演にてわかりやすくお伝えしたいと思います。

## 学歴

平成 12年 大阪大学医学部医学科卒業  
平成 24年 大阪大学大学院医学系研究科 博士号取得（論文博士）

## 職歴

平成 12年 大阪大学医学部（産科学婦人科学教室）において研究に従事  
平成 12年 大阪大学医学部附属病院産婦人科において臨床補助の研修に従事  
平成 12年 大阪大学医学部附属病院産婦人科 医員（研修医）  
平成 13年 泉大津市立病院産婦人科 医員  
平成 15年 大阪府立母子保健総合医療センター産科 医員  
平成 17年 大阪府立急性機総合医療センター産婦人科 医員  
平成 21年 日生病院産婦人科 医員  
平成 25年 University of Texas MD Anderson Cancer Center, Research Intern  
平成 25年 Houston Methodist Research Institute, Postdoctoral Associate  
平成 28年 大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 助教  
平成 30年 大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 学内講師  
令和 6年 大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 講師  
令和 7年 大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 教授

## 専門医等

日本産科婦人科学会専門医・指導医  
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医（腹腔鏡・子宮鏡・ロボット）  
日本内視鏡外科学会技術認定医  
日本癌治療認定医機構 がん治療認定医、日本婦人科腫瘍学会専門医  
ダヴィンチコンソール資格・プロクター、日本ロボット外科学会国内B級ライセンス、hinotoriコンソール資格  
日本女性骨盤底医学会専門医、日本女性ヘルスケア専門医



講演  
子宮がん（頸がん・体がん）最前線～予防から治療まで～



金沢大学医薬保健研究域  
医学系産科婦人科学教授

安彦 郁

子宮にできるがんには子宮頸がんと子宮体がんがありますが、どちらも20歳代から高齢者まで、幅広い年代の方がかかる病気です。本講座では、両がんの特徴や発生のしくみといった基礎知識をわかりやすく解説し、手術・放射線・薬物療法などの治療選択肢や最近の治療動向

をご紹介します。あわせて、気をつけたい症状や受診の目安、がん検診やHPVワクチンによる予防についてもお話しします。ご自身や大切な人の健康を考えるきっかけとして、ぜひご参加ください。

#### 学歴

平成 12年 大阪大学医学部医学科卒業

平成 25年 京都大学大学院医学研究科博士課程 単位認定退学

#### 職歴

平成 12年 京都大学医学部附属病院 産科婦人科 研修医

平成 13年 天理よろづ相談所病院 産婦人科 勤務

平成 16年 大阪赤十字病院 産科婦人科 勤務

平成 20年 京都大学医学部附属病院 産科婦人科 特定病院助教

平成 25年 京都大学医学部附属病院 産科婦人科 特定病院助教

平成 27年 京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学 助教

平成 31年 国立病院機構 京都医療センター 産科婦人科 医員、医長

令和 2年 国立病院機構 京都医療センター 診療科長

令和 6年 国立病院機構 京都医療センター 診療部長

令和 7年 金沢大学 医薬保健研究域医学系 産科婦人科学 教授

#### 専門医等

日本産科婦人科学会 産科婦人科専門医・指導医

日本婦人科腫瘍学会 理事、婦人科腫瘍専門医・指導医

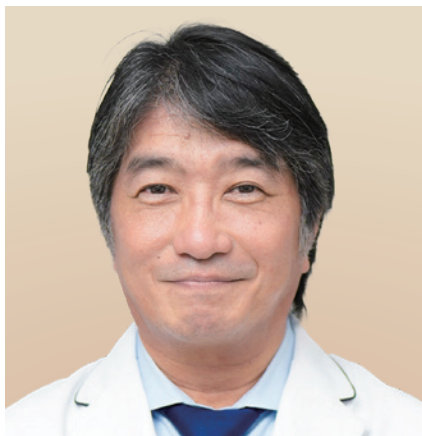
日本産科婦人科内視鏡学会 常務理事、技術認定医（腹腔鏡・ロボット）

日本内視鏡外科学会 評議員、技術認定医

日本婦人科ロボット手術学会認定プロクター（良性、悪性、RSC）

## 講演

# 妊よう性温存とその選択肢～がん・生殖医療の最新の話～



聖マリアンナ医科大学  
産科婦人科学主任教授

鈴木 直

2023年3月に閣議決定された国の第4期がん対策推進基本計画には、がん医療提供体制を充実させる具体的な施策として「⑧ 妊よう性温存療法について」が取り上げられました。これに先立つ2021年の4月からは、妊よう性温存療法(精子凍結や卵子凍結等)に対する国と自治体による経済的支援が開始してい

ます。がん治療の進歩と生殖医療の進歩に伴って、患者さんが、将来子供を授かる可能性を選択肢として治療開始前後に残すことができるようになりました(がん・生殖医療)。本講演では、がん・生殖医療における最近の話題を概説させていただきます。

## 学歴

平成 2年 慶應義塾大学医学部卒業

## 職歴

平成 2年 慶應義塾大学医学部卒業  
平成 2年 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室入局  
平成 5年 慶應義塾大学大学院(医学研究科外科系専攻)入学(指導:野澤志朗教授)  
平成 8年 米国カリフォルニア州バーナム研究所(ポスドク)～平成10年  
平成 9年 慶應義塾大学大学院(医学研究科外科系専攻)博士課程修了  
平成 12年 慶應義塾大学助手(医学部産婦人科学)  
平成 17年 聖マリアンナ医科大学講師  
平成 21年 聖マリアンナ医科大学准教授  
平成 23年 聖マリアンナ医科大学教授  
平成 24年 聖マリアンナ医科大学講座代表教授(令和4年呼称変更:主任教授)  
令和 5年 聖マリアンナ医科大学病院副院長

## 専門医等

役職(学内):

腫瘍センター副センター長(AYA 支援部会長)、生殖医療センター長、臨床倫理委員会委員長

専門(学会):

日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医、日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・教育研修指導医、緩和ケアの基本教育に関する指導者(日本緩和医療学会)

役職(学外):

日本産科婦人科学会:副理事長(総務/運営委員会委員長)

神奈川県産婦人科医会:理事(勤務医部会)

日本婦人科腫瘍学会:副理事長(渉外委員会委員長)、第69回学術講演会会長(2027)

日本癌治療学会:理事(思春期・若年(AYA)がん診療検討委員会委員長、利益相反委員会副委員長)

日本がん・生殖医療学会(JSFP):理事(前理事長 2012.11-2023.3)

日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構(JOHBOC):理事

ほか

## コーディネーター



京都大学名誉教授

京都医療センター名誉院長

### 小西 郁生

がんは二人に一人が必ず罹る病気ですが、医学・医療の進歩によって今や三人に二人は治ります。また完全に治らなくても、さまざまなケアによって「がんと生きる」ことが可能となりました。さて、今回は女性固有のがんにスポットを当て、乳がん、卵巣がん、子宮がんに対す

る治療法の最新情報をお届けいたします。さらに近年は、妊孕性を温存したがん治療、そして「がん・生殖医療」の進歩もめざましく、がんに関しても命を繋ぐことができる可能性があります。今回の市民公開講座では、それらの最新情報を視聴者の皆さまと一緒に学びます。

#### 学歴

昭和 51年 京都大学医学部卒業

昭和 63年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

#### 職歴

昭和 61年 京都大学医学部附属病院産科婦人科助手

平成 4年 米国アーカンソー医科大学研究員

平成 5年 京都大学医学部婦人科学産科学講師

平成 11年 信州大学医学部産科婦人科学教授

平成 15年 同 附属病院副病院長

平成 19年 京都大学医学研究科婦人科学産科学教授

平成 20年 同 医学部附属病院副病院長

平成 28年 国立病院機構京都医療センター院長

令和 2年 同 名誉院長・特別研究員

## コーディネーター



京都大学名誉教授  
宇治徳洲会病院顧問  
藤田医科大学客員教授

### 平岡 眞寛

今年のSGH財団市民公開講座では、女性が直面する代表的ながんである「乳がん・卵巣がん・子宮がん」を取り上げます。各分野のエキスパートを招き、最新の治療法や知見を分かりやすく解説いただきます。  
これらのがんは若年層での発症も多く、治療の

過程で「妊孕(にんよう)性」が損なわれるリスクも少なくありません。本講座では、患者さんの希望となる精子・卵子凍結などの最新の温存療法についても詳しく紹介します。がんへの理解を深め、将来の可能性を守るための歩みを共に考えてみませんか。

#### 学歴

昭和 52年 京都大学医学部卒業  
昭和 59年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

#### 職歴

昭和 59年 京都大学医学部附属病院放射線科助手  
昭和 62年 米国スタンフォード大学放射線腫瘍科客員助教授  
平成 元年 京都大学医学部講師  
平成 4年 京都大学医学部助教授  
平成 7年 京都大学大学院医学研究科教授  
平成 19年 京都大学医学部附属病院がんセンター長 併任  
平成 24年 京都大学産官学連携本部副本部長 併任  
平成 28年 日本赤十字社和歌山医療センター院長  
令和 4年 同名誉院長、宇治徳洲会病院顧問  
令和 6年 藤田医科大学客員教授



## これまでの市民公開講座

### 第23回 前立腺がん 進歩する治療とあなたの選択

開催日：令和7年3月2日(日) オンライン開催

### 第22回 「がんと言われた時から～毎日を健やかに過ごすには?～」

開催日：令和6年3月3日(日) オンライン開催

### 第21回 「がん免疫療法の進歩 科学的根拠と最新情報」

開催日：令和5年2月23日(木・祝) オンライン開催

### 第20回 「がんを予防するための最新情報を学ぶ」

開催日：令和4年2月27日(日) オンライン開催

### 第19回 「ウィズコロナ時代の新たながん医療とは」

開催日：令和3年2月23日(火・祝) オンライン開催

### 第18回 「がんゲノム医療について ～精密医療の到来?～」

開催日：令和2年2月24日(月・振休) 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

### 第17回 「がんとともに生きる ～患者に寄り添う医療とは?～」

開催日：平成31年2月24日(日) 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

### 第16回 「こんなに進んだ! 肺がん治療の最前線」

開催日：平成30年2月18日(日) 会場：ハービスOSAKAハービスHALL(大阪市)

### 第15回 「こんなに進んだ大腸がん診療!」

開催日：平成29年2月26日(日) 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

### 第14回 「泌尿器科がん:診断・治療の最前線」

開催日：平成28年2月21日(日) 会場：新大阪イベントホール レルミエール(大阪市)

### 第13回 「こんなに進んだ乳がん治療!」

開催日：平成27年3月15日(日) 会場：大阪国際会議場(大阪市)

### 第12回 「輝いて生きる」

開催日：平成26年2月16日(日) 会場：よみうりホール(東京都千代田区)

### 第11回 「がんと人生」

開催日：平成25年3月24日(日) 会場：有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

### 第10回 「子宮がんの予防と治療」

開催日：平成24年3月20日(火・祝) 会場：国立京都国際会館(京都市)

### 第9回 「乳がんの治療と診断」

開催日：平成23年3月27日(日) 会場：京都大学 時計台ホール(京都市)

### 第8回 「集中的がん治療 ～治療成績向上を目指したチーム医療～」

開催日：平成22年3月28日(日) 会場：京都大学 時計台ホール(京都市) 共催：文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

### 第7回 「がん治療最前線 ～大きく変わるがん治療(薬物、放射線、外科治療)～」

開催日：平成21年3月22日(日) 会場：東海テレビ テレビアホール(名古屋市) 共催：NPO法人日本臨床腫瘍学会

### 第6回 「府民とともに考える京都のがん医療」

開催日：平成20年2月2日(土) 会場：京都産業会館 シルクホール(京都市) 共催：京都新聞社

### 第5回 「大腸がんの最前線」

開催日：平成19年3月17日(土) 会場：京都市北文化会館(京都市)

### 第4回 「肺がんの最新情報」

開催日：平成18年3月25日(土) 会場：京都産業会館 シルクホール(京都市)

### 第3回 「がんの予防と胃癌治療の最前線」

開催日：平成17年2月26日(土) 会場：京都府会館第二ホール(京都市)

### 第2回 「前立腺がんの最新情報」

開催日：平成16年3月20日(土・祝) 会場：国立京都国際会館(京都市)

### 第1回 「乳がんの最新情報」

開催日：平成15年2月1日(土) 会場：京都市北文化会館(京都市) 共催：京都新聞社

# がんに打ち勝つ、 未来のために。



公益財団法人SGH財団は、  
がんに関する研究、並びにがん看護に関する  
研究・実践開発に対して、助成・褒賞を行っています。

## がん研究振興事業

### ■ SGH特別賞

がんの基礎・臨床研究に顕著な功績を挙げ、  
かつ今後の発展が期待される方を対象に、  
表彰を行っています。

### ■ SGH看護特別賞

がん看護に関する先駆的な研究並びに実践を  
行うことにより、わが国の医療の発展・向上に寄与し、  
その業績が顕著で、かつ今後の発展が期待される  
個人または団体を対象に表彰を行っています。

### ■ SGHがん研究助成

がんの基礎及び臨床における優れた研究を対象として、  
若手研究者の育成を目的に、  
平成元年度から助成を行っています。

### ■ SGHがん看護研究助成

がん看護に関する優れた研究並びに実践における  
新しい取り組みを対象として、  
看護実践の発展に寄与することを目的に、  
令和元年度から助成を行っています。

## 留学生 奨学事業

日本の大学に在学する東南アジアからの  
私費外国人留学生に  
奨学金支援を行っています。

### ■ 奨学金支援(給付型奨学金)

### ■ 奨学生交流支援

・卒業奨学生同窓会 ・奨学生交流会

## 国際経済 協力事業

物流に関する高度教育機関への  
専門家派遣や研修生を受け入れ、  
人材育成を行っています。

### ■ 物流人材育成支援

・研修生受け入れ ・物流集中講義の実施

**公益財団法人SGH財団**

〒600-8009京都市下京区函谷鉾町79ヤサカ四条烏丸ビル9階 TEL:075-255-9310 FAX:075-255-9311

<https://www.sgh-foundation.or.jp>